

の教授會に於て滿場一致學位授與の決定ありたり其略歴
及其主論文は左の如し

君は大正二年十一月京都醫科大學を卒業し三年一月同大學副手となり四
年五月産科婦人科學一般專攻の爲京大大学院に入り今春本縣都窪郡倉敷
町倉敷紡織株式會社附屬病院醫長に就任し今日に至る

主論文 月經期ニ於ケル植物性神經系ノ緊張ニ

就テ

岡山醫學會彙報

岡山醫學會通常會

同會は本月二十四日午後三時より岡山醫學專門學校附
屬醫院に於て開會上坂副會長開會を宣し直ちに左の演説
に移る。

第一席 盜汗新治療劑「アズドリン」ノ醫治的價值ニ

就テ

岡山醫學專門學校附屬醫院第一内科

原 勝 巳 君

「アズドリン」の治験を、五十七例に就きて報告し、尙
ほ同劑と盜汗との關係に就き詳述せり。(自抄)

第二席 全身性剝脫性皮膚炎患者ノ示説

岡山醫學專門學校附屬醫院皮膚科教室

醫學博士 中川小四郎 君

今 西 順 治 君

演者は剝脫性皮膚炎に關して概括的に諸家の學説を陳
述し最後に五十五歳の男子にして全身性剝脫性皮膚炎な
る診斷のもとに演者等によりて治療せられつゝある患者
を示説せり。(自抄)

右終りて午後四時二十分閉會せり。